

# あなたの知的財産は あなた自身で守るもの

弁理士

スクーピップ

ScoopIP 特許事務所

川島 祥一

時にコワーキングスペースに現れる「コワーキング弁理士」、お酒を飲むときはテラス席を好む「テラスおじさん」です



## ■便利に使ってもらおうのも弁理士の役割

こんにちは、弁理士の川島です。そう遠くはない昔「便利屋（便利士）さんですか？」というお約束があったと聞きます。今はありがたいことに「特許や商標の申請をする人ですよ」と、声をかけていただけることが多いですね。でも一度だけありましたよ、便利なことをしてくれる人に間違われたことが（笑）。ただ、便利に使ってもらってなんぼの仕事であることには変わりはないです。

## ■面倒くさいから面白くへ

弁理士になる前、私は企業で研究開発の仕事をしていました。エンジニアの仕事は、特許権を無視できないんです。でも、特許権って名前からして堅苦しくて面倒ですよ。だから最初は後回しにしてました。興味をもつきっかけは、社内の知財部門の担当者と仲良くなったこと

です。その人がとても生き生きと知財の話をしてくれるんですね。それで、ああ面白いかもと思いはじめました。

## ■無関心だと成す術なし状態へ

その後、転職を経験しながらもエンジニアを続けていたところ、転職となる出来事が起こります。あるメーカーは、スタートアップ企業から新しい技術を導入しようとしていました。実用化にはまだリスクがあったため、まずは、プロトタイプを導入して検証を続けることにしたそうです。

ところが、進捗は遅れに遅れてしまいます。なんだか雲行きが怪しくなってきたなあと思っていた矢先、なんとそのスタートアップ企業の技術が、同意なく他社に開示されてしまったのです。どうやら開発を急ぐ上層部が、協力会社とその技術をコピーさせる決断を下したようなのです。一方で、そのスタートアップ企業は、特許権を取得しておらず、営業秘密としての管理体制も不十分でしたし、契約も曖昧だったため、成す術なしの状態でした。

## ■あなたの知的財産はあなた自身で守るもの

このエピソードは、技術のパクリ問題でしたが、例えば、あなたが使用している商品名やロゴを他人に真似されるかもしれませんし、製品デザインを盗まれる可能性だってあります。

多くの仲間と時間をかけて開発した技術やデザイン、お客様への真摯な対応を続けてブランド化に成功した店舗名や商品名などには、関係者の想いが込められています。そんな想いが込められた知的財産は、あなたではない他の誰かが守ってくれるものはありません。あなた自身で守るものです。

想いが込められた知的財産の保護を通じて、安心して事業を行うことができる場を提供したい、私はそのために弁理士になりました。嫌な思いをしたくないというあなたのために全力でサポートさせていただきます。

(※) 知的財産とは、発明、意匠、商標、著作物などのことで、他にも様々な種類があります。